

## 立憲民主党神奈川県第6区総支部 地域経済・市民生活LINEアンケート報告

立憲民主党神奈川県第6区総支部（総支部長 青柳陽一郎衆議院議員）は、昨年11月16日～翌17日の2日間、地域経済や市民生活、政治に対するご意見等についてLINEアンケートを実施、地域・区民の皆様から多くのご意見やご要望をいただきました。

頂いた貴重なご意見・ご要望については、真摯に受け止め、国・県・市各々の議会で取り組みを進めるとともに、市民の皆様と協働して国に対し法改正を含む要望活動を順次展開していきたいと考えております。

今回のアンケートで一番声の大きかった「子育て」に関するご要望について、4月28日から街頭署名活動※以下署名用紙を展開しておりますので、趣旨にご賛同いただき、署名のご協力をよろしくお願いいたします。

また、自由記述でも多くの声を寄せていただきましたので、別紙1－3に回答をさせていただきます。

意見・要望

20 代女性（保土ヶ谷区）：「予防接種の無料化を進めてもらいたい」

回 答

各種予防接種について現在、帯状疱疹ワクチンの費用助成を要望しています。  
帯状疱疹ワクチンは予防効果が高いものの費用が高額となっています。  
費用助成を行っている地域もあり、国に要望するとともに横浜市へも接種費用の助成をお願いしています。

意見・要望

30 代女性（保土ヶ谷区）：「受動喫煙防止対策を強化してほしい」

回 答

横浜市は喫煙禁止指定地区を設定するとともに市が管理する公園について、全面禁煙にすることとしています。  
さらなる受動喫煙防止対策として横浜市に対し喫煙禁止指定地区の拡大を積極的に行っていくよう要望するなど引き続き対策の強化に向け取り組みを推進していきます。

意見・要望

30 代男性（保土ヶ谷区）：「イオン天王町 SC バスセンター側 T 字路の安全対策を講じてもらいたい」

回 答

当該場所の交通安全対策については、関係する近隣自治会や帷子小学校等と課題を共有しながら、子どもたちや高齢者など歩行者等の安全確保について検討を重ねてきており、今後も横浜市や警察など関係機関・関係部署と、これまでの協議を踏まえつつ、実現に向け取り組みを進めてまいります。

意見・要望

40代男性（保土ヶ谷区）：「行政サービスのデジタル化を進め、効率よく迅速な対応をしてほしい」

回答

横浜市として「横浜DX戦略」を策定し、デジタル化を進めており、令和6年6月には子育てに関連する行政手続き軽減に資する「子育て応援アプリ」を導入し、行政手続きの簡素化・効率化を図ってまいります。

神奈川県電子申請システム利用状況は令和元（2019）年14万1,000件だったところ、令和4（2022）年には57万6,000件と大幅に増加しています。

さらなるデジタル化推進に向けて課題の洗い出しとその対処を行いつつ着実に進めてまいります。

意見・要望

50代女性（保土ヶ谷区）：「高齢者が多い地区に小型バスを運行してほしい」

回答

地域交通の確保・維持については、予約相乗り型の交通サービスであるデマンド型交通やワゴン型車両の運行など地域交通の拡充、福祉的視点を取り入れたミニバスや乗り合いタクシーなど地域交通ネットワークの強化等、みなさまの「足」を確保していくため、地域に寄り添いながら交通手段の充実・多様化を図ってまいります。

意見・要望

20代男性（旭区）、20代女性（旭区）：「街に活気を。希望ヶ丘商店街など商店街を活性化してほしい」

回答

旭区希望ヶ丘商店街では、春の希望ヶ丘商店街フェスティバル通称「キボフェス」や「阿波踊り」イベントなど若い事業者・店主が企画、開催しています。

商店街や地域のさらなる活性化に向けて「商店街活性化イベント助成事業」や「みんながつながる地域づくり補助金」など行政による各種補助金の拡充や支援の充実に向け、関係各局と協議してまいります。

意見・要望

20代女性（旭区）：「公園や子連れで遊べる場所を増やしてほしい」

回答

横浜市は「子育てしやすい街」を目指しており、公園内に併設したカフェなど、身近な公園をより自由に、そしてもっとくつろげる場所に向けて、さまざまな制度を使い民間とも協力しながら子育て世代にやさしい街となるよう積極的に取り組んでいきます。

意見・要望

40代男性（旭区）：「二俣川駅周辺の渋滞緩和を進めてほしい」

回答

これまでも旭警察署など関係機関に要望し、道路の拡幅や信号機・赤青の時間調整、矢印信号設置など渋滞緩和の取り組みを漸進的に行ってまいりました。

引き続き寄せられた具体的事案の課題に対処し、安全・安心な道路交通環境の施設整備に取り組んでまいります。